

# 心豊かな暮らしと社会のために 暮らしの視点から 移動と移動手段を考える

## 自己紹介



- スイス留学・カンボジアNGOなど
- ● ● 離れた若者の声を聞きたいと採用される  
旅客・貨物・販売・整備・メーカー・運輸局・  
自治体などを取材する(株)自動車新聞社 記者（本社は神戸）
- 分野横断的に取り上げるモビリティ情報誌「LIGARE」創刊編集長
- 東京モーターショー2013スマートモビリティシティ2013
- 土木計画学少子高齢化社会における  
子育てしやすいまちづくり研究小委員会委員
- 次世代タウンモビリティプロジェクト
- 再生塾
- 公共交通マーケティング研究会 幹事
- 国土交通省「自転車活用推進に向けた有識者会議」委員
- 名古屋市交通問題調査会 委員
- 国土交通省 交通政策審議会交通体系分科会第15回地域公共交通部会  
臨時委員
- 国土交通省 MaaS 関連データ検討会 委員
- 国土交通省 バスタプロジェクト推進検討会 委員

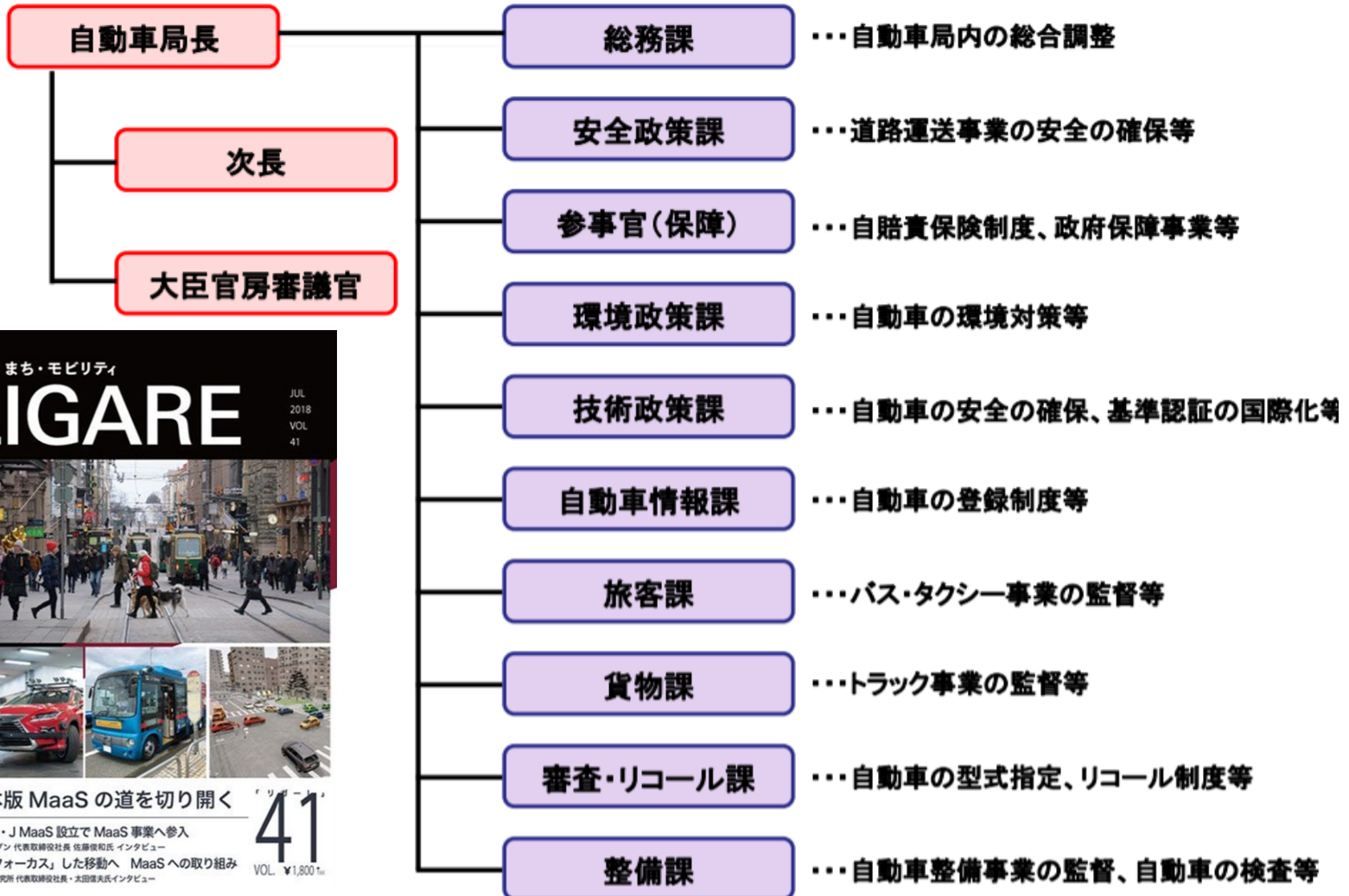


モビリティジャーナリスト 楠田悦子

E-mail [info@leben-kurashi.com](mailto:info@leben-kurashi.com)

# 自動車局の括りから取材スタート (株) 自動車新聞社 LIGARE創刊編集長

## 自動車局の組織(平成28年4月1日~)



ひと・まち・モビリティ

# LIGARE

JUL 2018 VOL. 41

日本版 MaaS の道を切り開く

新会社・J MaaS 設立で MaaS 事業へ参入  
— ジョルダン 代表取締役社長 佐藤俊和氏 インタビュー  
「人にフォーカス」した移動へ MaaS への取り組み  
— グァル研究所 代表取締役社長・太田道夫氏 インタビュー

# 41

VOL. ¥1,800

# ひと・まち・モビリティが 一体でアップデートする時代！

ビジョンの形成や官民連携の手法とは？



国土交通省道路局  
藤浪武志氏



東急株式会社  
東浦亮典氏



トヨタ・モビリティ基金  
山中千花氏



モビリティジャーナリスト  
楠田悦子氏

2020.12.17 THU 15:00-18:00

@ axle御茶ノ水2F

WEB同時開催

LIGARE

# 社会課題と移動全体を考えるため 2013年独立 移動手段とサービスの多様化高度化

個々人に着目した  
心豊かな暮らし



社会の課題解決にどのようにまちを再構築し

都市  
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業  
物流

観光

どのように移動手段を活用するか

etc..

歩く  
歩行補助

自転車  
PMV

自動車  
四輪・二輪

バス  
タクシー

鉄道

飛行機  
船



# 移動が変わらないので モビリティ×DX AI IoT 自動運転について取材



進化する移動の未来!

## MaaSの全貌から 最前線を徹底解説!

ビジネス  
ヒントが満載!  
必読の  
一冊!

- クルマは所有からシェアする時代に
- あらゆる移動がスマホで便利に
- CASEとMaaS
- 次世代モビリティサービス
- 日本と海外の最新事例

未来授業  JFN

MENU ≡



未来授業 第1回

楠田悦子 Vol. 1598



UPDATE 2019-03-11 20:00



自転車の活用推進に向けた有識者会議委員



まちづくりと一緒に  
免許返納後の  
移動手段を考えています



# 2020年12月10日発売 時事通信社より

## からの脱却 移動貧困社会

免許返納問題で生まれる  
新たなモビリティ・マーケット

楠田悦子 編著 KUSUDA, Etsuko  
高齢者事故からモビリティを考える会 執筆

痛ましい  
高齢ドライバー  
の自動車事故

免許返納  
したくても  
代わりの移動  
手段がない

家族が  
送迎する  
「家族タクシー」  
は限界

冷遇される  
車いすや  
ベビーカー

完全  
自動運転の  
実用化は  
まだまだ先!

乗り物は格段に進歩しているが実は移動貧困な日本社会

あなたはクルマの  
運転ができなくなったらどうしますか?

定価：本体1,600円+税

時事通信社

「移動貧困社会」からの脱却 - 免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット (日本語) 単行本 (ソフトカバー) - 2020/12/10

楠田悦子 (著), 楠田悦子 (その他), & 1 その他

★★★★★ 1個の評価

ベストセラー1位 カテゴリ 交通一般関連書籍

> その他 の形式およびエディションを表示する

単行本 (ソフトカバー)

¥1,760

獲得ポイント: 32pt prime

¥3,520 より 1 中古品

¥1,760 より 6 新品

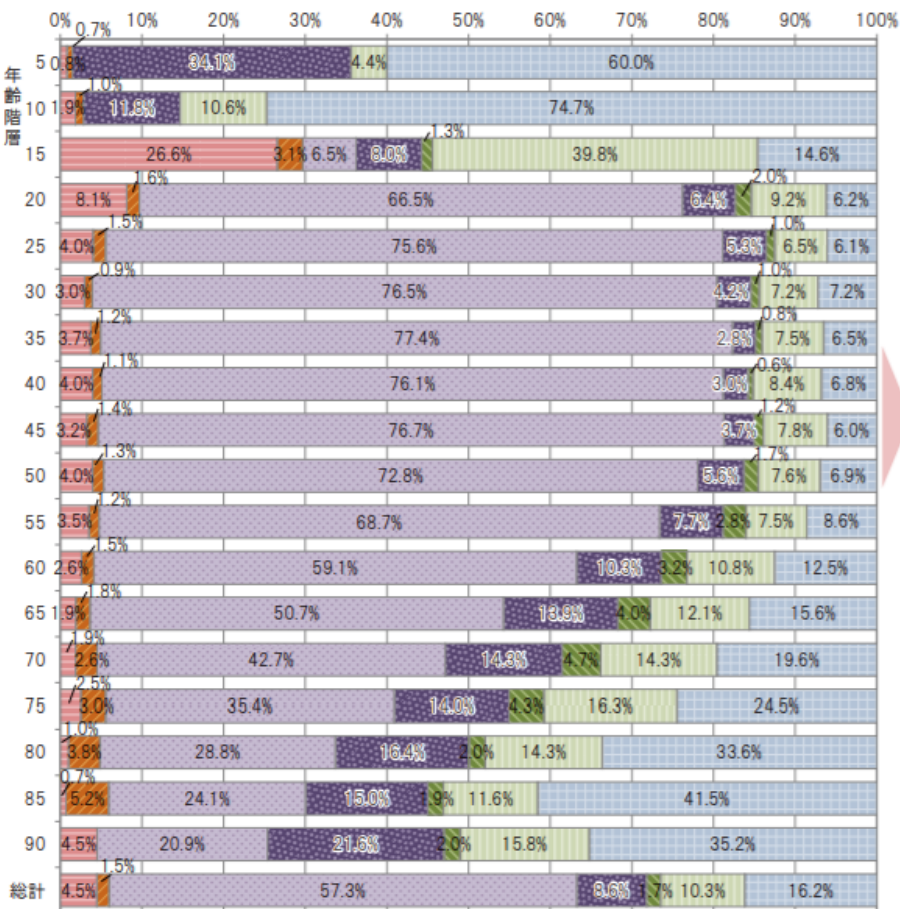
# 私たちは、声を聞いているか？ 潜在的な生活者ニーズを汲めていないのではないか 高齢者事故からモビリティを考える会

---

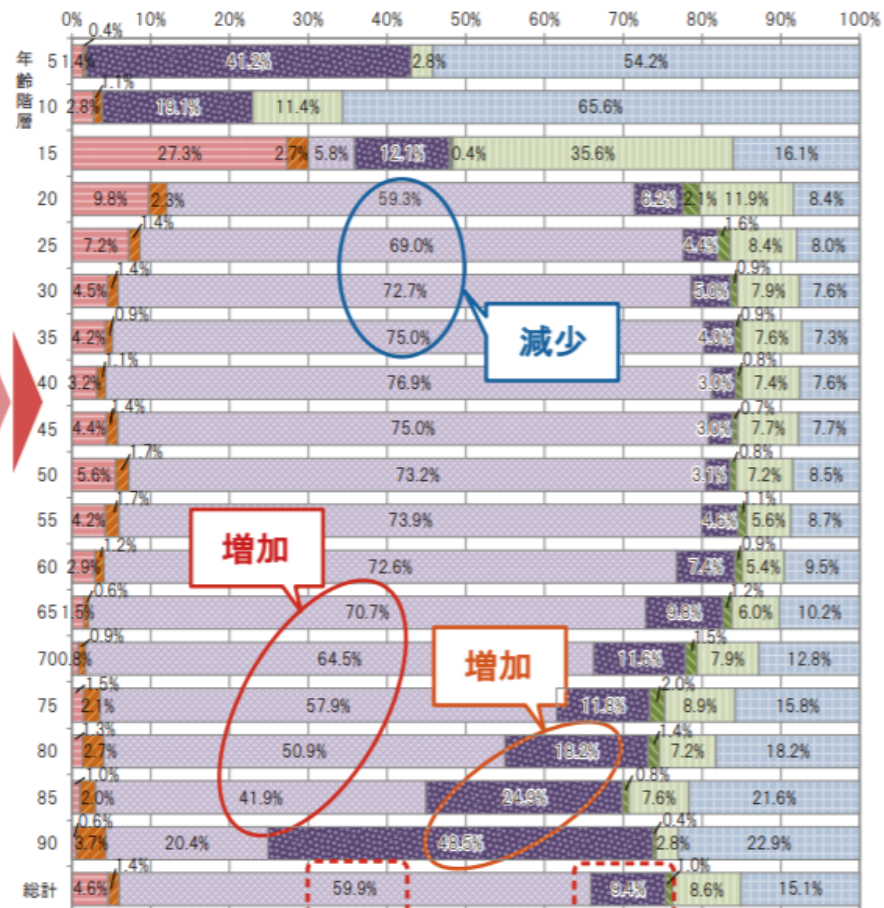




# クルマだけに頼った暮らし 急激に増えた家族タクシー 移動貧困が生活の貧困を招く



第2回 平成16年  
(2004)



第3回 平成28年  
(2016)

■ 鉄道 
 ■ バス 
 ■ 自動車 
 ■ 自動車(送迎) 
 ■ オトバイ・バイク 
 ■ 自転車 
 ■ 徒歩

図 年齢階層別の代表交通手段 (左図：第2回、右図：第3回)

# 社会病理 免許返納で介護リスクが2倍

## 免許返納は大人失格か？

### 返納して病気になる人は「クルマ生活習慣病」

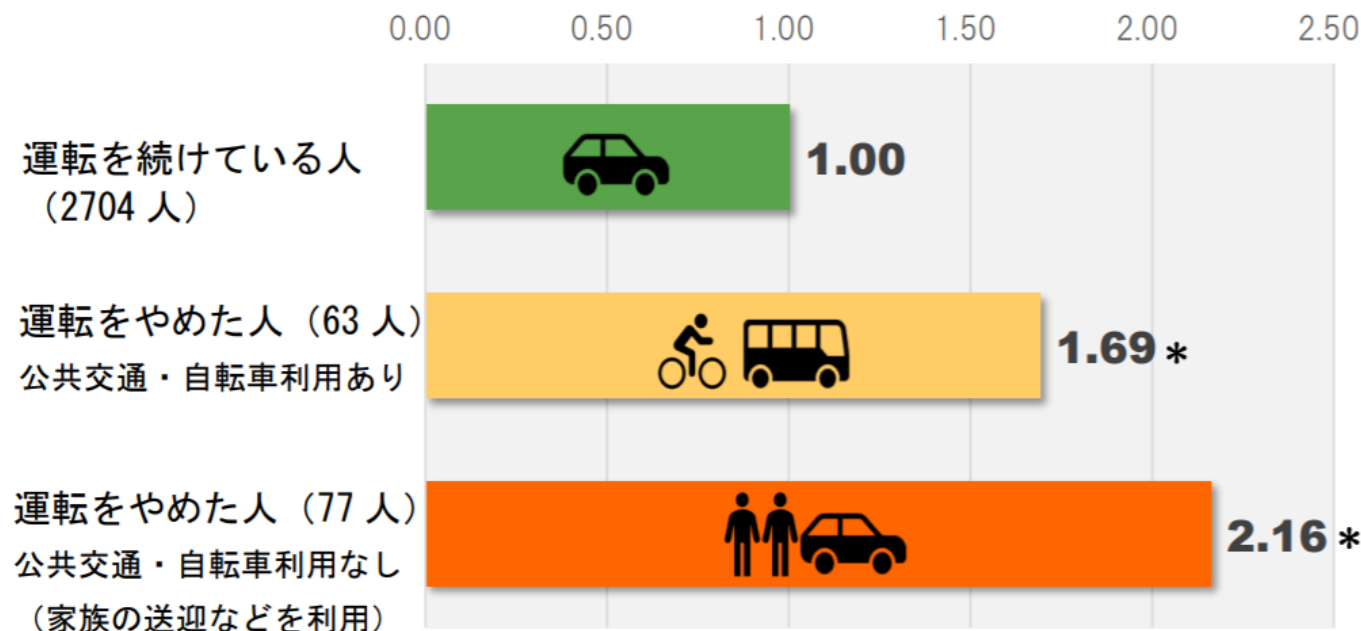


図 運転継続・中止と公共交通・自転車利用有無別 要介護認定リスク

※ 年齢, 性別, 教育年数, Body Mass Index, 主観的健康感, 治療中の疾病, うつ, 基本チェックリストの運動器・認知症関連項目, 外出頻度, 高次生活機能, 居住校区の人口密度を統計学的に調整した.

# 移動貧困社会とは

---

テクノロジーが進歩しているように見えるが

**移動の選択肢が少ない**

高齢者、障害者、子育て層が安心して外出できない

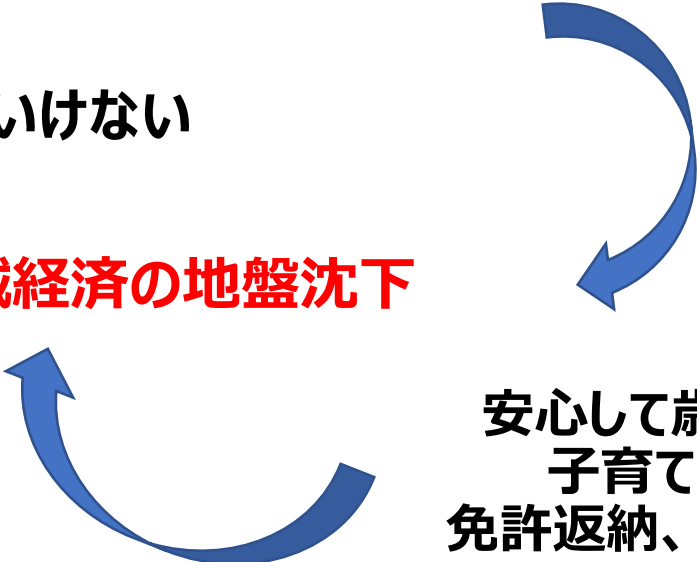
QOL低下

家族が面倒を見ないといけない

**生活まで貧困になる**

**医療・福祉費の増大**

**自治体財政破綻、地域経済の地盤沈下**

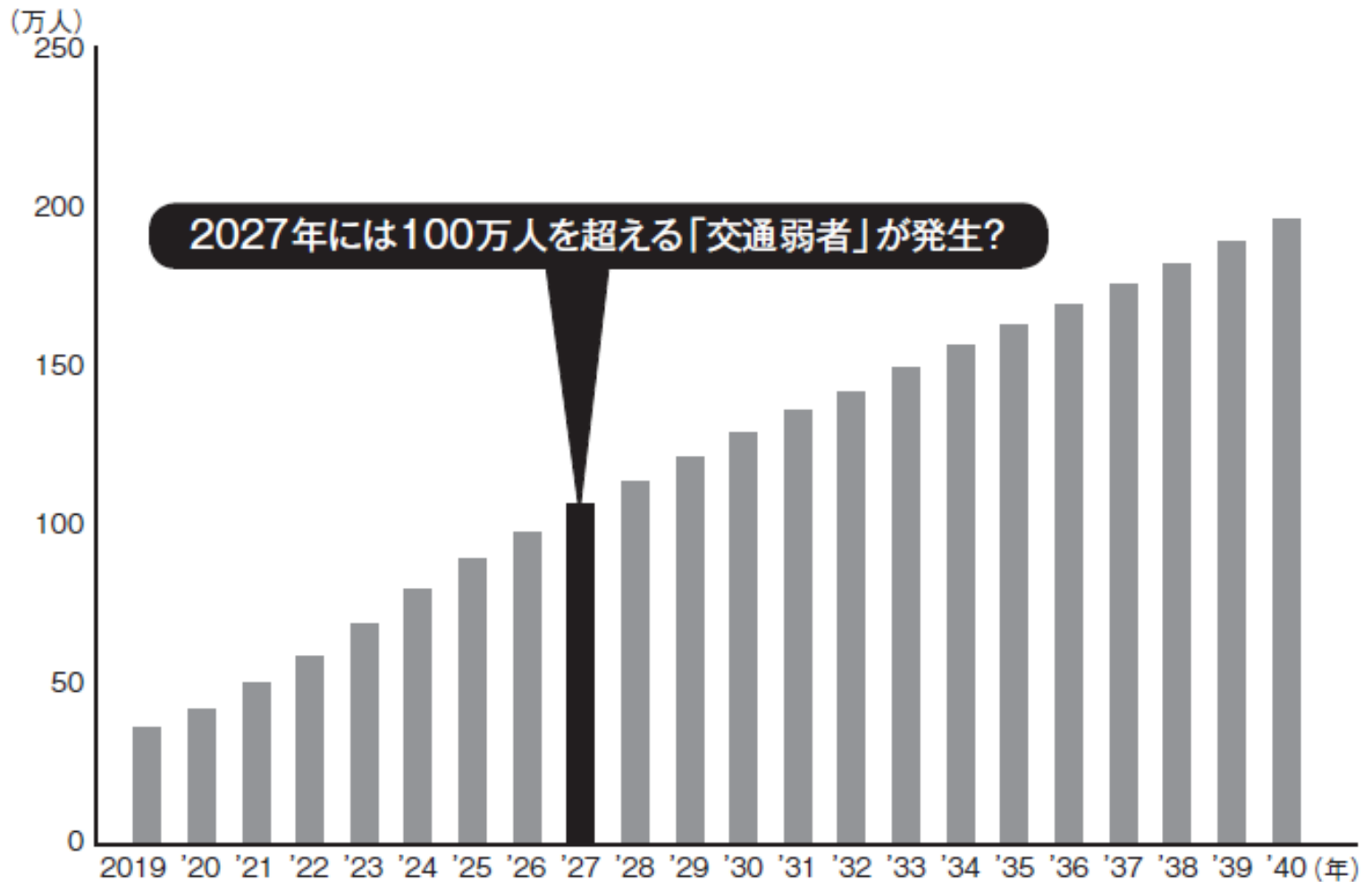


安心して歳をとれない  
子育てできない  
免許返納、障害を持つと  
社会人じゃなくなる？

**SDGs 日本も未だ途上国ではないか？**



# 2027年には100万人を超える免許返納者 悲劇か？機会か？

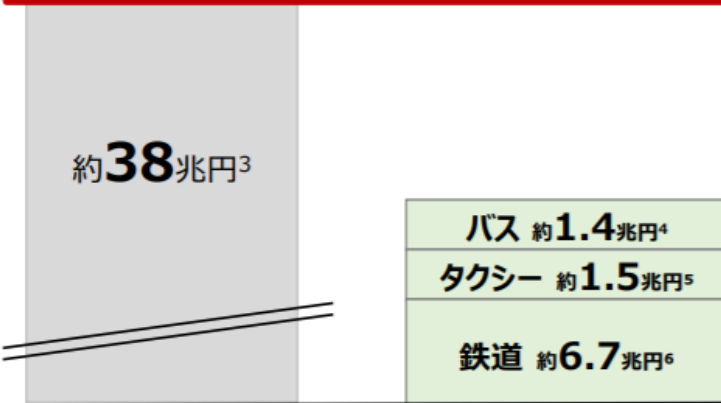


図表1-4／運転免許証自主返納数将来予測  
出典) 矢野経済研究所

何もしなければ…

# 免許返納の純粋な約3兆円の新たなマーケット もっと大きいはず…

移動課題解決による市場創出



自治体・地域の運送事業者と  
共に、受け皿の構築が必要

潜在的市場規模  
約3兆円

<sup>1</sup> 2030年の子どもの通学送迎・高齢移動弱者の買い物送迎市場の最大ポテンシャル。国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計(平成29年推計)」、国土交通省「全国都市交通特性調査」、中央大学大学院戦略経営研究科教授 佐藤博樹「高齢者の生活圏と移動手段」、東京産業労働局 H23「高齢者の購買動向に関する調査報告書」等を基にMonet分析 <sup>2</sup> 2019~2030年の人口減少以外の要因によるマイカー保有台数減少分の保有コスト合計。 <sup>3</sup> 財自動車検査登録情報協会「自動車保有台数の推移」、総務省「全国統一価格品目の価格【2019年10月】」、JA共済「自動車の年間維持費はどれくらい？車種別にまとめてみた」、内閣府『平成29年交通安全白書』等を基にMonet分析、 <sup>4</sup> 国土交通省「平成29年度の一般乗合バス事業（保有車両30両以上）の収支状況について」等よりMonet分析、 <sup>5</sup> H29年度のタクシー営業収入。元は国土交通省自動車局旅客課担当者へのヒアリング等によりMonet分析、 <sup>6</sup> 国土交通省「鉄道統計年報【平成28年度】」等によりMonet分析

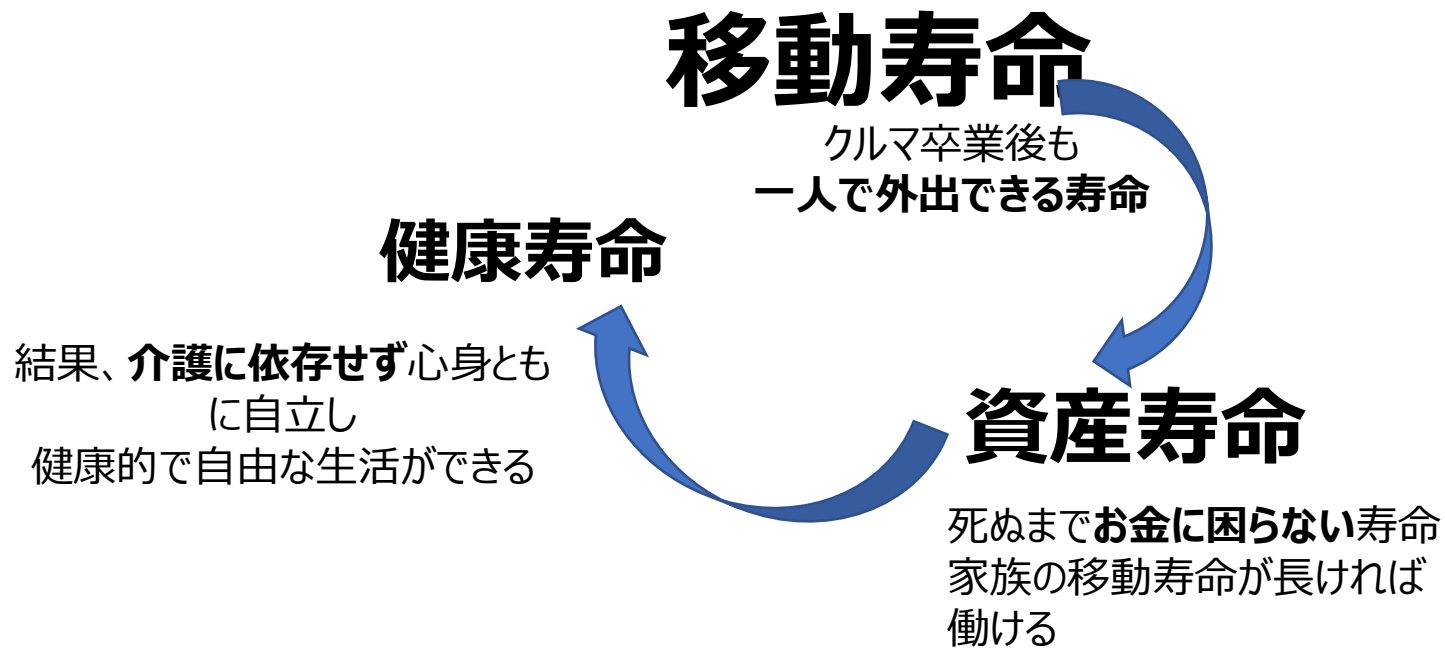
# 移動寿命の延伸は、健康寿命の延伸につながる

---

自分で移動できること

= 生きること、元気であることそのもの

危ないからダメ、禁止するのは悲しい。危なくない社会をなぜ作れない？





# 各移動手段からMaaS CASEまで取材 安心して歳をとれる社会にならない 何か足りない気がする

個々人に着目した  
心豊かな暮らし

移動 =  
生きることそのもの



## 社会の課題解決にどのようにまちを再構築し

都市  
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業  
物流

観光

## どのように移動手段を活用するか

etc..

歩く  
歩行補助

自転車  
PMV

自動車  
四輪・二輪

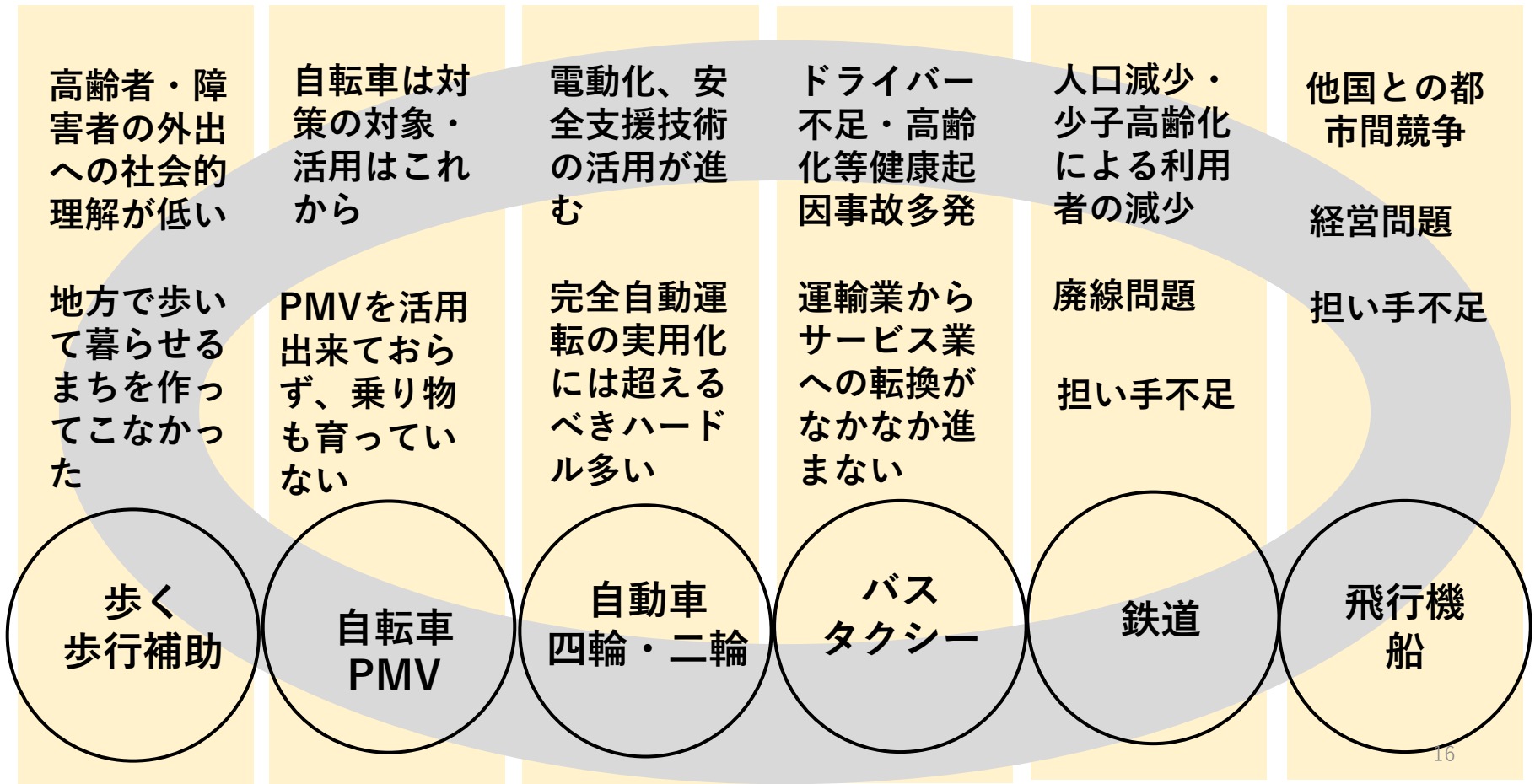
バス  
タクシー

鉄道

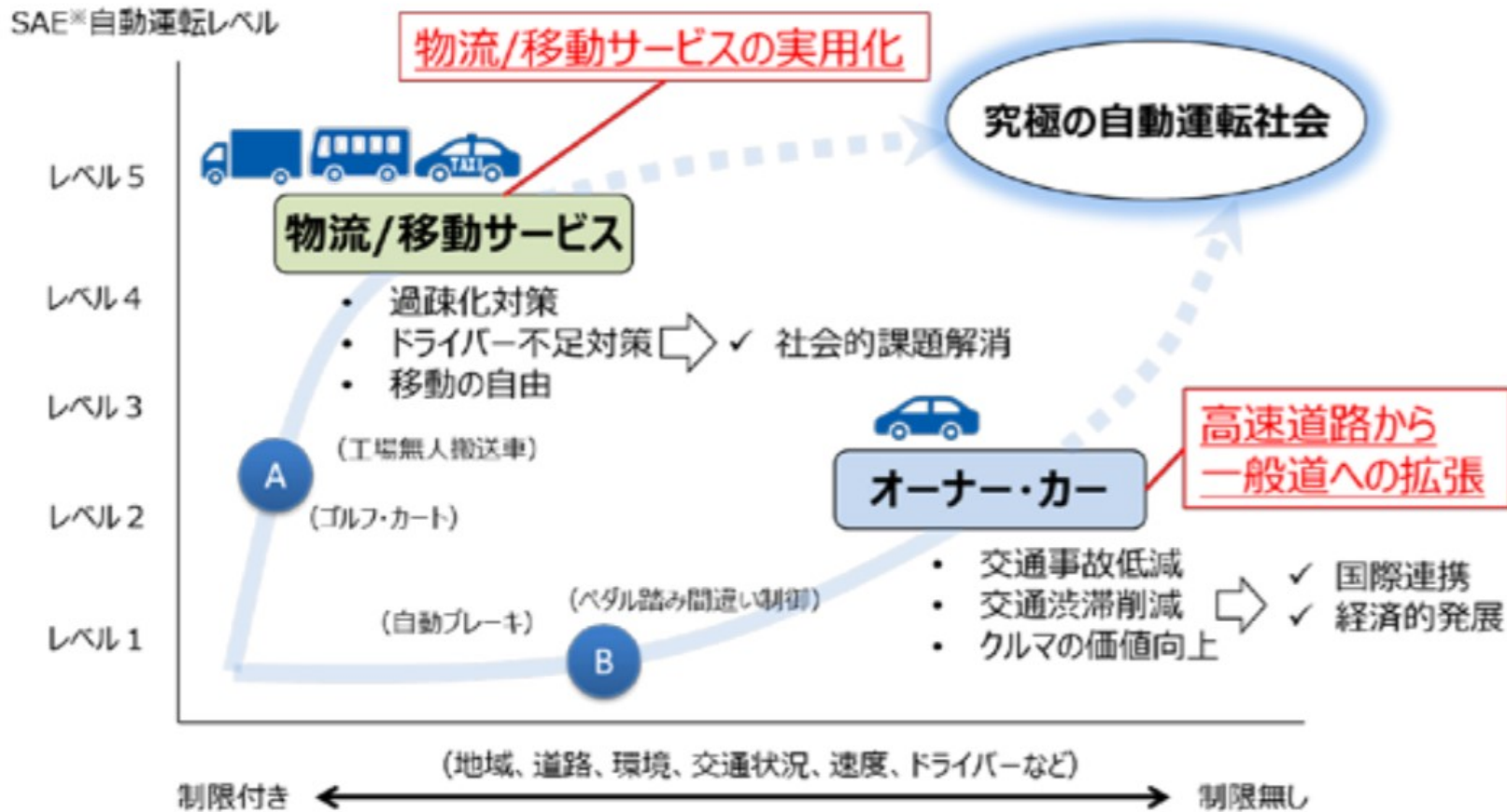
飛行機  
船

# MaaSを取材する以前から 業界を取材しているので実情は分かっていた

## 理想とは程遠い 問題が山積



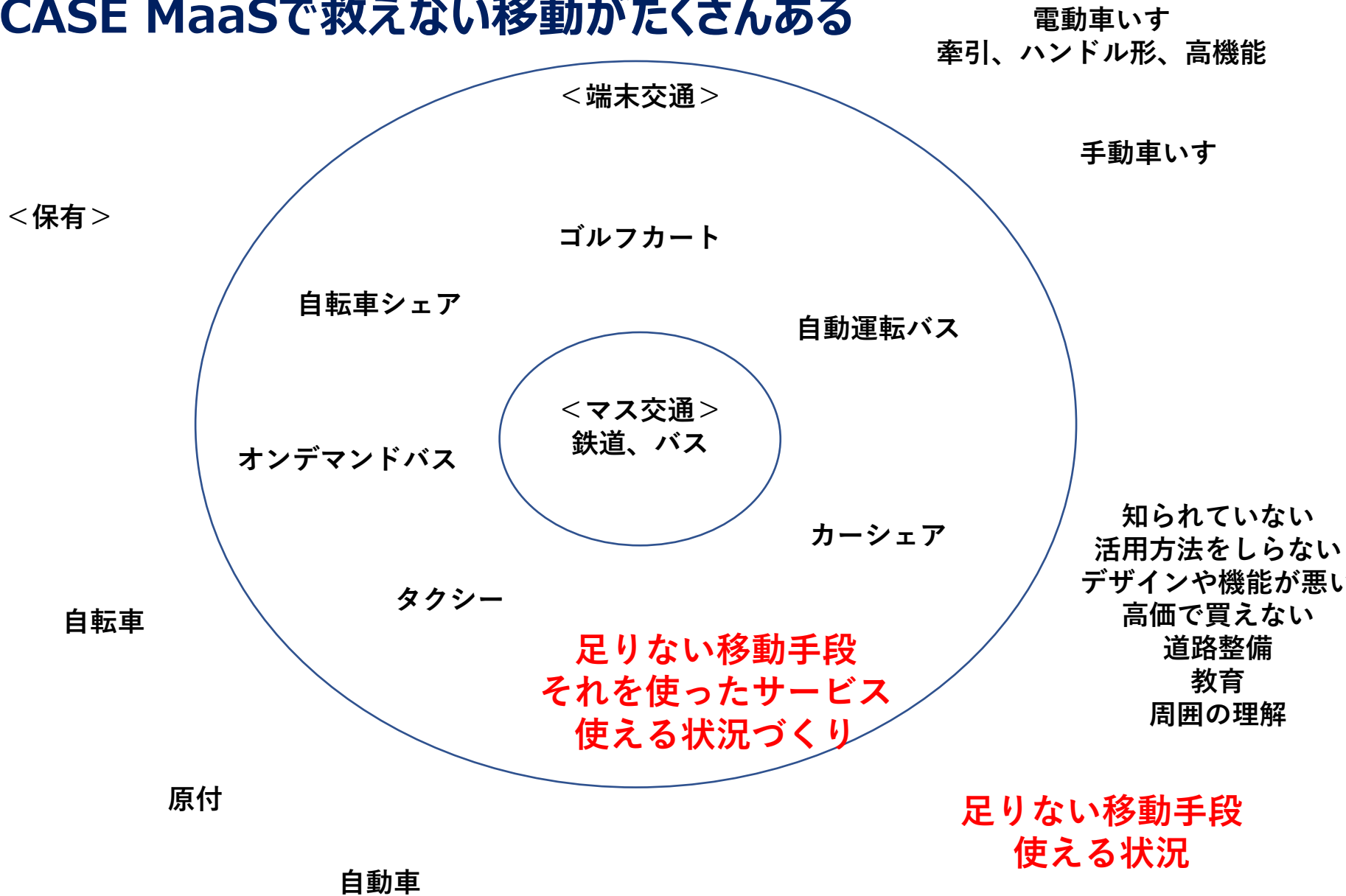
# 自動運転は「万能薬か？」 すべての移動問題を解決するという“神話”



※SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体



# 住み続けるために必要な移動手段 CASE MaaSで救えない移動がたくさんある



# ドライバーになる仕組みはしっかりしてる ドライバー卒業サポートがない

例えば：免許返納一括請負  
+ 返納後のライフサポートサービス

- 運転スキルの見直し
- 身体能力測定
- 免許返納時期と  
新たな暮らしの計画を一緒に考える
- クルマ以外の移動手段をピックアップ  
乗り方サポートもセット
- 数年ごとに、移動手段を見直し

保険会社  
ディーラー  
教習所  
の出番??



## 2つのタイプの移動手段を増やす

---

Outside help  
他力移動

誰かに送ってもらう  
タイプ

鉄道、バス、タクシー  
MaaS

もっと知恵を絞りたい

Self-movement  
自力移動

自分で移動する  
タイプ

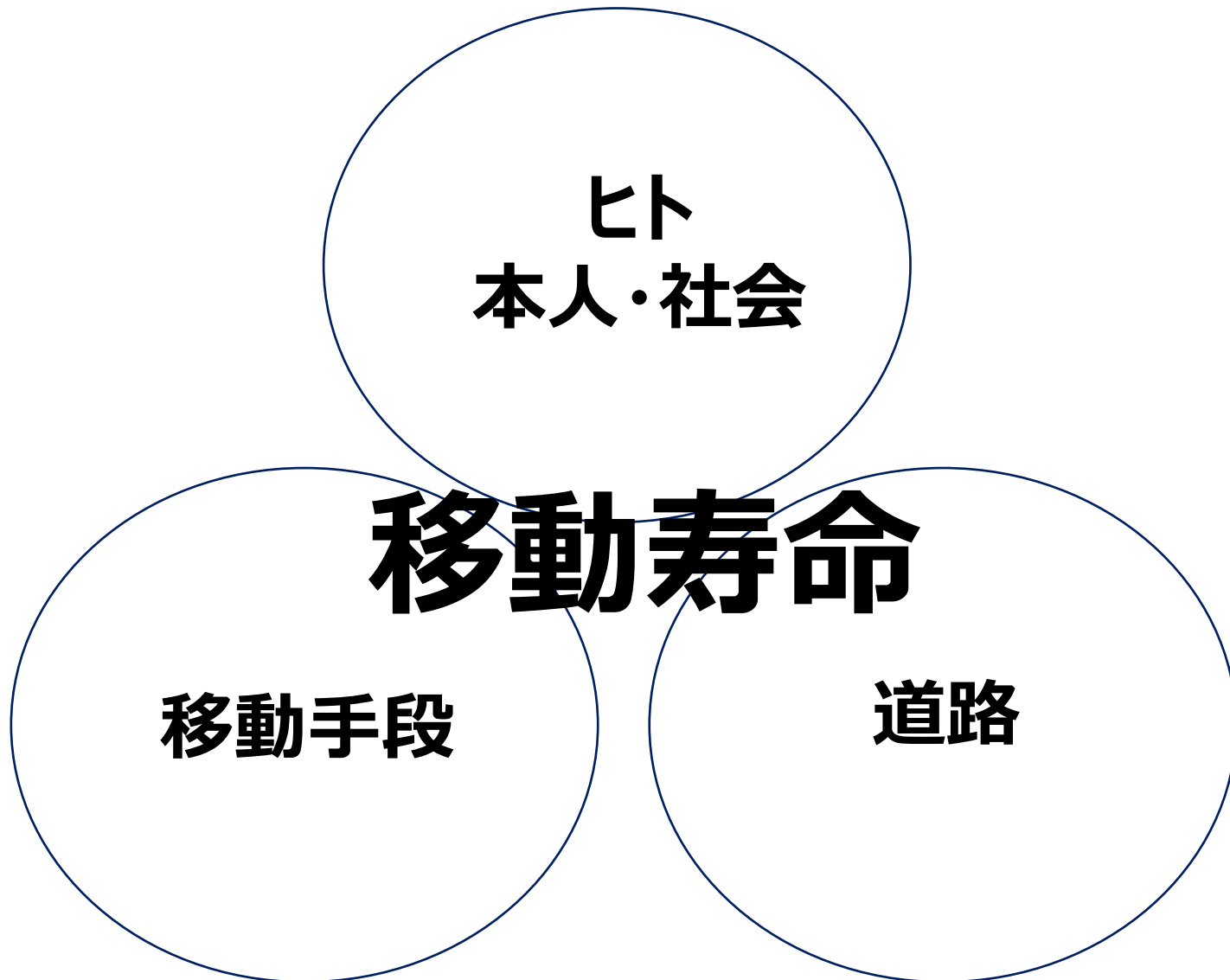
小型モビリティ、自転車、  
車いすなど

もっと投資・開発を



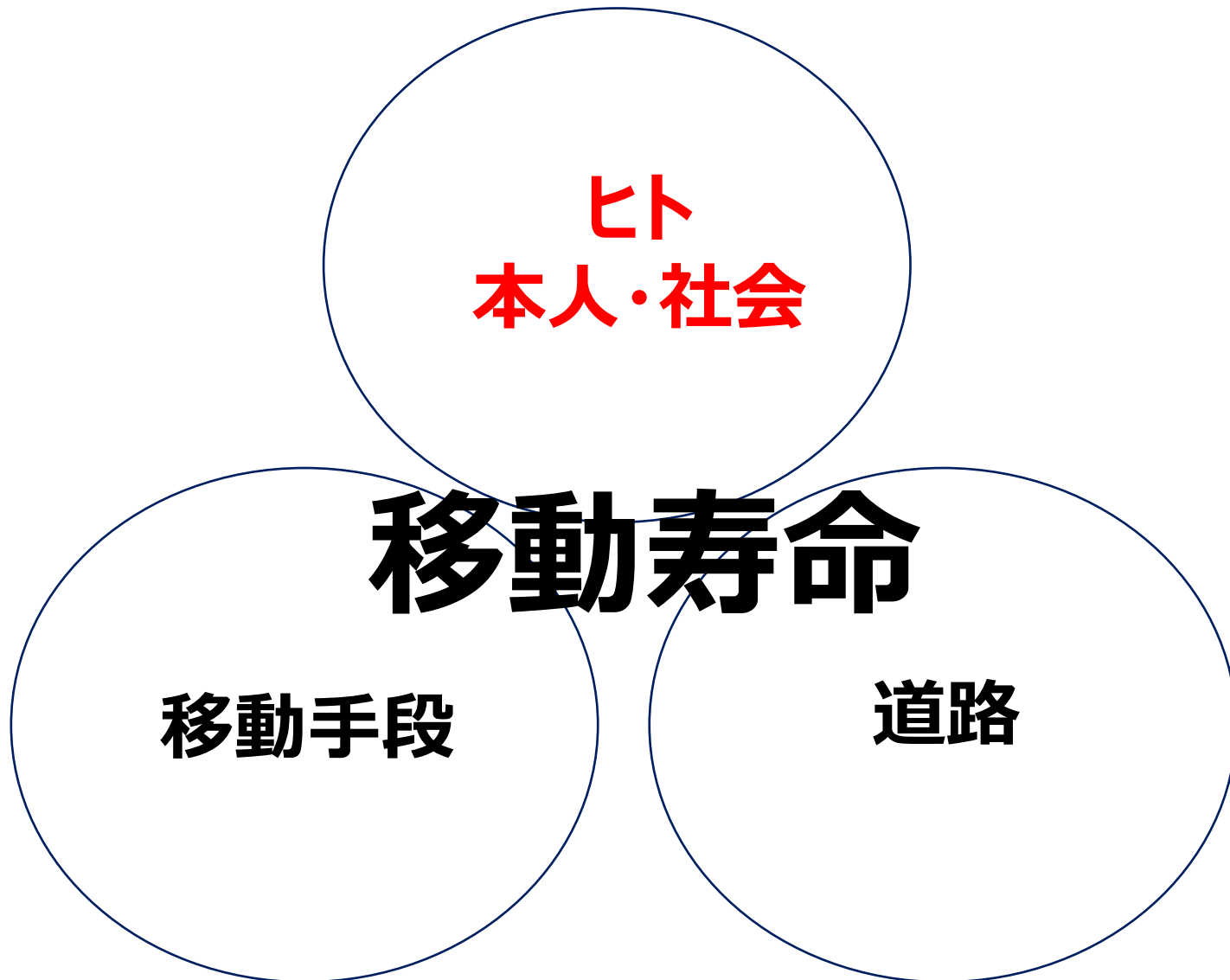
# 大切な3つのバランス 都市経営の観点から 短期、中期、長期計画を

---



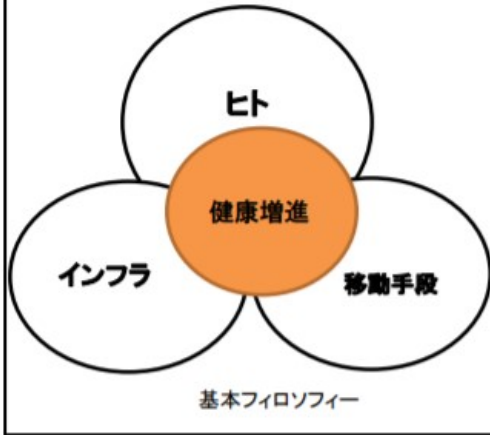
# 大切な3つのバランス 都市経営の観点から 短期、中期、長期計画を

---



# 「交通教育」+「モビリティ教育」 クルマ+もう一つ移動手段を持とう クルマに乗ることは否定しない

## 伊那市自転車活用推進計画 ロコモティブシンドローム 予防に資する自転車活用 年代別推進策



### 自転車利用環境向上策案

- 市道を活用したサイクルネットワーク
- サイクルリーダーなど指導者養成
- 世代別自転車活用教育(教室)
  - 自転車通学の見直し
  - 自転車通勤の奨励
- 地域企業の健康経営実現
- 疾病・介護予防実証事業
- 自転車購入補助プログラム
- 年代別自転車保険制度

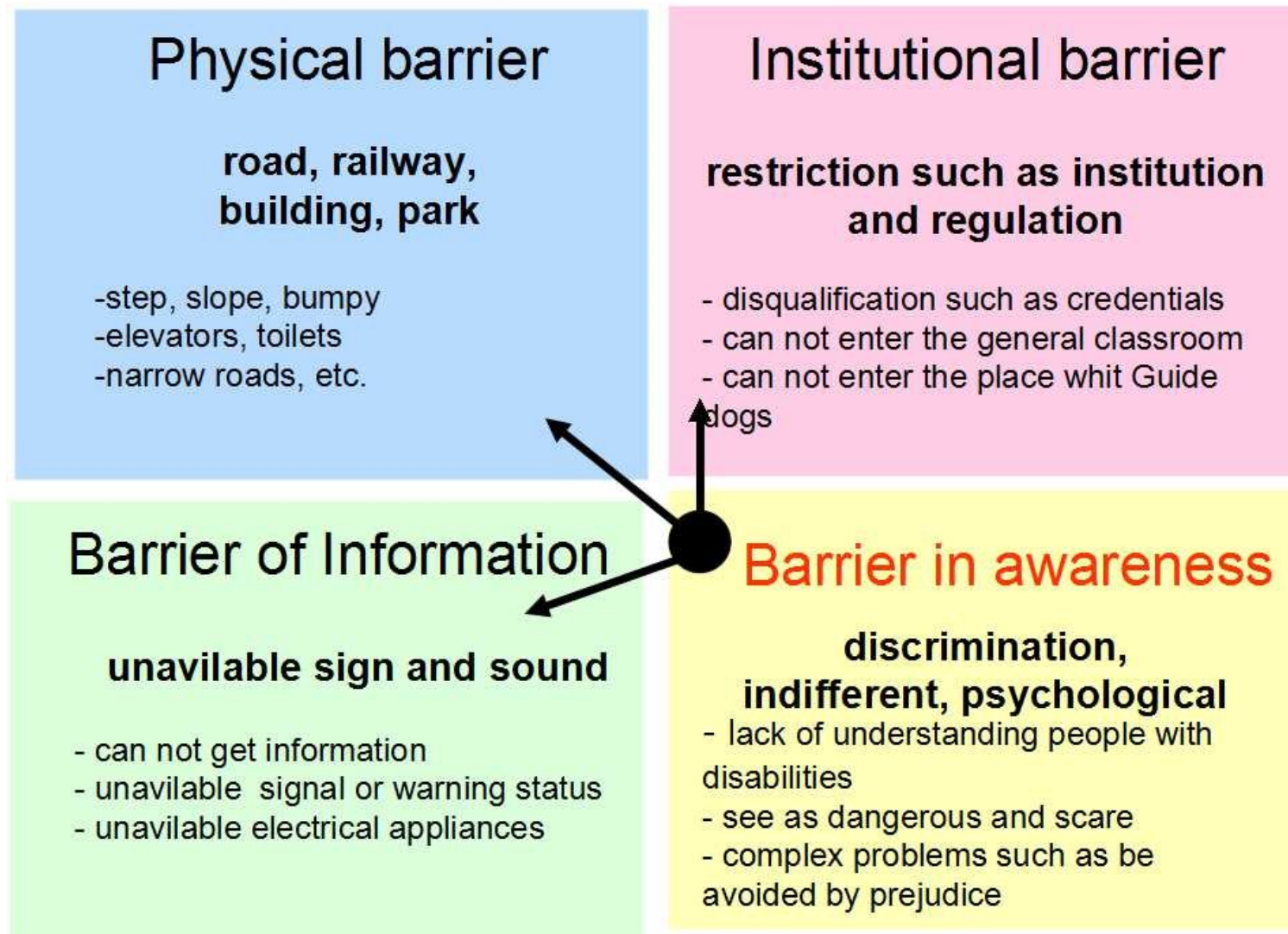
年代別 ロコモティブシンドローム予防策

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上		
キャッチフレーズ じてんしゃで遊ぼう	キャッチフレーズ 自由を。自転車で！	キャッチフレーズ 始めよう、ジテ遊ライフ			キャッチフレーズ チャレンジ健康寿命					
EQアップは「じてんしゃ」で	僕たちのライフスタイル	マイカーに長く乗るために			体幹機能維持					
<div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <span style="font-size: 2em;">←</span> <span style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">→</span> <b>自転車は楽しい&amp;自転車利用環境の向上</b> <span style="font-size: 2em;">→</span> </div>										
<b>①デンマーク式じてんしゃ教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園児中心に実施</li> <li>・インストラクター養成のスキーム作り</li> <li>・他地域との連携</li> <li>・ポストキックバイク企画</li> <li>・一種の英才教育</li> </ul>	<b>①自転車通学の見直し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者</li> <li>・通学経路                             <ul style="list-style-type: none"> <li>市道のネットワーク</li> <li>自転車観光ルートとの併用</li> </ul> </li> <li>・通学用自転車規制</li> <li>・ヘルメット/校則/購入補助</li> </ul>	<b>①自転車通勤の奨励</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象企業の公募                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) 自転車通勤企業インセンティブ</li> <li>例) 「健康企業宣言」</li> </ul> </li> <li>・通勤ルートの設定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車観光ルートとの併用</li> </ul> </li> <li>・自転車通勤者へのインセンティブ付与                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) 電動アシスト自転車補助</li> <li>例) 「健康ポイント」付与</li> <li>例) 健康保険料&amp;駐輪料金割引</li> <li>例) ライド&amp;パーク優先使用</li> </ul> </li> </ul>	<b>①60才からの大人の自転車教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) ロコモティブシンドローム予防</li> <li>例) 認知症予防</li> </ul> </li> <li>・免許更新時講習</li> <li>・市民大学カリキュラム</li> </ul>			<b>②自転車購入補助プログラム</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型モビリティ体験</li> <li>・新型アシスト自転車購入補助</li> </ul>		<b>②疾病・介護予防実証事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の予防</li> <li>・体力の維持向上</li> <li>・脳の活性化</li> </ul>		<b>③孫と祖父母 自転車教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抵抗感の多い高齢者の参加をうながす</li> <li>・家族全体で関心を持ってもらう機会に</li> </ul>
<b>②インストラクター養成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10歳未満に対するサイクルリンク</li> <li>インストラクター養成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) サイクルリーダー制度</li> <li>自転車街づくりアドバイザー</li> </ul> </li> <li>・他地域との連携</li> </ul>	<b>②自転車に親しむ施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあい</li> <li>・多様な自転車を知る機会</li> </ul>	<b>③地域企業の健康経営実現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通勤                             <ul style="list-style-type: none"> <li>クルマに乗り続けるための身体機能測定も実</li> <li>例) 認知機能の向上を証明</li> <li>例) プレゼンティーズムの減少を証明</li> </ul> </li> </ul>			<b>③孫と祖父母 自転車教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抵抗感の多い高齢者の参加をうながす</li> <li>・家族全体で関心を持ってもらう機会に</li> </ul>		<b>③孫と祖父母 自転車教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抵抗感の多い高齢者の参加をうながす</li> <li>・家族全体で関心を持ってもらう機会に</li> </ul>			
<b>③孫と祖父母 自転車教室</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抵抗感の多い高齢者の参加をうながす</li> <li>・家族全体で関心を持ってもらう機会に</li> </ul>	<b>③自転車安全教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育範囲                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の使い方</li> <li>自転車に乗るマナー</li> </ul> </li> <li>様々な楽しみ方の体験                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) ツーリズム</li> <li>例) 競技</li> <li>例) 観光</li> </ul> </li> <li>・啓発の枠組みづくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>例) サイクルリーダー制度</li> <li>自転車街づくりアドバイザー</li> </ul> </li> </ul>	<b>④パーク&amp;サイクルライド</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和</li> <li>・自転車通勤奨励</li> <li>・健康寿命の延伸</li> <li>・駐車場の有効活用</li> </ul>			<b>④父さん母さんへのアプローチ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デンマーク式の活用</li> <li>・子の安全から入っていく</li> </ul>		<b>④父さん母さんへのアプローチ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デンマーク式の活用</li> <li>・子の安全から入っていく</li> </ul>			
<div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <span style="font-size: 2em;">←</span> <span style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">→</span> <b>自転車業界や外部の協力団体との長期的な連携を維持</b> <span style="font-size: 2em;">→</span> </div>										

# デザインやプロモーションが大切

## 日本に存在する「意識のバリア」を越える必要性

---





# 移動手段の種類が日本は少ない！



**運転免許の要らない移動手段は、非常に少ない**  
**田舎は「所有」 市民権を得ている移動手段は「徒歩」「自転車」の現実**

**個々人に着目した  
心豊かな暮らし**

ポイント  
自転車に取り組むと  
他のスローモビリティも  
導入しやすい



**社会の課題解決にどのようにまちを再構築し**

都市  
道路

福祉・医療

子育て

住宅

産業

観光

**どのように移動手段を活用するか**

etc..

歩く  
歩行補助

自転車  
PMV

自動車  
四輪・二輪

バス  
タクシー

鉄道

飛行機  
船

# 危ないなら危なくないものを作ろう 自転車、パーソナルモビリティの開発をもっと



安全性(低速安全性)



# 鍵は道路が握る

自動運転、自転車、電動キックボード、車いす

---

ヒト  
本人・社会

移動寿命

移動手段

道路





コロナで大きく変わった欧州の都市  
写真：パリ



# 東京の道路ですら 整理整頓できていない

---





古都 金沢/京都が生まれ変わる  
クルマからみんなにやさしい  
道路 " 〇.0?? "

# ご清聴ありがとうございました。



モビリティジャーナリスト 楠田悦子

---

E-mail [info@leben-kurashi.com](mailto:info@leben-kurashi.com)